

# 号外!

次は4月。この二人で二席ずつ、たっぷりと。

## 第34回 佐世保かっちえて落語会 春風亭一朝・一之輔親子会

「えっ!ウソー!」ウソじゃありません。「あの!あの一之輔さんが!?!」  
そうです、あの一之輔さんです。「しかも!一之輔さんば育てた一朝師匠も  
一緒に!?!」そうです、一朝師匠も一緒にです。「二人そろってかっちえて  
に来らすと!?!」はい、二人そろって来らすとよ。「ウソー!」ウソじゃね  
えって言ってんだろうがべらぼうめ!てめえの目ん玉あカン口の黒飴か!  
このチラシのタイトルに江戸勘亭流の太文字で**春風亭一朝・一之輔親子会**  
**会**って書いてあんだろうがべらぼうめ!・・・なんて乱暴な書き出しです  
いませんだみつおですが、いま、この号外チラシを手にしてている人は、べら  
ぼうにラッキーな人ですよ。なんとって次回は、一朝・一之輔による親子会  
なんですから。落語の世界における“親子”とは“師匠と弟子”のことです  
が、もしもあなたが落語好きで、噺家の善し悪しがわかる人ならば、この二  
人よる親子会が、どれほど必見必聴の価値ある会か、おわかりになると思い  
ます。もしもあなたが、落語にはあまり詳しくないし、さほど興味もない人  
だとしても、あの“座布団積み上げ番組”のレギュラーである一之輔の名前  
ぐらいはご存じでしょうが、テレビと違って“真剣勝負の場である高座”で  
の両師匠を目の当たりに見て、聴いてみれば、目からウロコ耳からタラコで  
“落語のほんとの面白さ”がわかりますよ。もっとも私たちの会は、毎回そ  
れを目指して、毎回そういう噺家さんに来てもらっています。  
とにもかくにも、全国どこの落語会でもめったにない一朝・一之輔の親子会  
が、この西の端の佐世保で実現するのです。これを逃すと、この二人を同じ  
高座で堪能できる機会は、二度とない!かもしれませぬ。・・・と言いなが  
らも、“かっちえて”では三回目ですがね。「自慢しいかよ!」はい、私の  
ジャケットはジマンシーで、私はジマンシーを着たヘップバーンが好きです。  
「何のことだかわかんないよ!」いいんです、この会はわかる人だけわかれ  
ばいい落語会ですから。

**春風亭一朝**：1950年生まれの72歳。江戸前の噺家として人気のあった  
五代目春風亭柳朝の総領（一番）弟子。師匠譲りの、高座で啖  
呵を切る威勢のよさは天下一品であり、江戸っ子を演じたらこ  
れほど似合う噺家はいないだろうと賞賛されている。粹でいな  
せな江戸落語の典型的な噺家で、大河ドラマや時代劇では役者  
へ江戸言葉の指導を依頼されるほど。笛の名手であり歌舞伎の  
囃子方を担当するほどの腕前。国立演芸場花形演芸大賞受賞。

春風亭一之輔：1978年生まれの45歳。2001年、23歳の時に春風亭一朝に入門。2012年、34歳の時に異例の21人抜きで真打に昇進。その快挙は大いに話題となるが浮き足立つことなく、その後も精進を重ね、今年（2023年）『笑点』の新レギュラーとなり、いまもっともチケットが手に入りにくい噺家のひとりであるが、私たちの“かっちえて”には8年も前の2015年に初登場以来、次回で6回目。師匠譲りの古典落語を現代的な感覚で演出するその独特の面白さを、ぜひ実感してほしい。師匠と同じく国立演芸場花形演芸大賞を受賞。

まさに、この師匠にしてこの弟子あり。この弟子にしてこの師匠あり。こんな二人が、佐世保で親子会をやってくれるんです。嬉しいですねえ、有難いですねえ。

前座はいつものように“地産地笑”の創作落語で、我が故郷の落語っ子たちが一生懸命に務めさせていただきます。

嗚呼、なんて楽しみな会なんでしょう。全国でも希少な会なのに、増税なしのこの料金です。嗚呼、なんて予約したくなる会なんでしょう。

笑う門には福来る、笑顔の人には幸来る。次回も、ご来場をべらぼうにお待ちいたしております！

（文責・海老原靖芳）

**2024年4月29日（月・祝日）**

**開演午後4時**

**佐世保コミュニティーセンター5F**

**指定席 大人：2,500円・小中高生：1,000円**

**※ 次回も指定席のみの販売とさせていただきます。**

※チケット販売・問合せ先

**佐世保かっちえて落語会・実行委員会 事務局**

佐世保市干尽町 2-5 観光交流センター2F Soup-Up させぽ内

Tel:0956-32-0888 / Fax:0956-59-8151

営業時間：月～金 9時～18時